千葉県少年少女オーケストラと アキラさんの 大発見コンサート 2020

指揮・ピアノ・お話
宮川 彬良

管弦楽
千葉県少年少女オーケストラ

音楽監督
佐治 薫子

Miyagawa Akira
photo ©PACO

演奏曲目

大発見マーチ、小犬のワルツ、別れの曲
魔王、貴婦人の乗馬、チョップ・スティックス
アラベスク、愛の讃歌
*曲目は変更になる場合がございます。

2020年
8/22(土)15:00開演 千葉県文化会館大ホール

1,000円(消費税込) 全席指定

*駐車台数に限りがございます。ご来場の際は公共の交通機関をご利用ください。
*未就学児はご入場いただけません。

プレイガイド
◎インターネット予約 http://www.cbs.or.jp/
◎千葉県文化会館 043-222-0201 ◎千葉県東総文化会館 0479-64-2001

主催/千葉県・公益財団法人千葉県文化振興財団 お問合せ/千葉県少年少女オーケストラ事務局 043-222-0077

PROFILE

♪宮川 彬良（みやがわ あきら） 作曲家・舞台音楽家

1961年東京都出身。

劇団四季、東京ディズニーランドなどのショーの音楽で作曲家デビュー。その後、数多くのミュージカル・舞台音楽を手掛ける。代表作に「ONEMAN'SDREAM」「身毒丸」「シャンポーの森で眠る」「ミラクル」「ハムレット」「マクベス」「家なき子」「血の起源」「星の王子さま」「ルビチ」「ザ・ヒットパレード」「ムサシ」「欲望という名の電車」など。1996年「身毒丸」で第４回読売演劇大賞・優秀スタッフ賞を受賞、2000年「ミラクル」で東京芸術劇場ミュージカル月間優秀賞を受賞。2005年「ハムレット」（再演）で第12回読売演劇大賞・優秀スタッフ賞を受賞。2004年には、松平健のショーのために作曲した「マツケンサンバⅡ」が大ブレイク、舞台音楽からヒット曲を送り出した。

一方、『コンサートはショーである』を信条に、さまざまな企画のコンサートを日本全国で行っている。作曲、編曲、指揮、ピアノ演奏、解説すべてが自身によるそのコンサートは、「アキラさんとまこと君 ふたりのオーケストラ」「未来の音楽授業！アキラ塾」「アキラさん'sアカデミー」自作の舞台音楽を演奏する「宮川彬良心deバレエ」「宮川彬良×米良美一ふたりの歌謡ショウ」「0歳からのパントマイム・オーケストラ」など多彩なスタイルを披露、幅広い層に親しまれている。

演奏会でよく演奏される「風のオリヴァストロ」は、TV番組「AQUOS美術館『かくて名画は生まれた』」のテーマ曲として作曲し、のちに歌詞がつけられ代表作のひとつとなった。また、「シンフォニック・マンボNo.5」はベートーヴェンの交響曲第5番「運命」とペレス・プラードの「マンボNo.5」をミックスした究極のアレンジ作品で、海外でも人気がある。

1995～2010年大阪フィル・ポップス・コンサートの音楽監督・常任指揮者、1998年～宮川彬良＆アンサンブル・ベガの音楽監督、2014年～Osaka Shion Wind Orchestraの音楽監督、せたがや文化財団スペシャルプロデューサー。

2003～2010年NHKEテレ「クインテット」、2009～2010年NHKBS2「どれみふぁワンダーランド」、2011～2012年NHKBSプレミアム「宮川彬良のショータイム」の音楽担当、並びに出演。2012～2018年文化放送「玉川美沙ハピリー」内「ハピリーくらしっく」レギュラー出演。2012年アニメ「宇宙戦艦ヤマト2199」、2017年「宇宙戦艦ヤマト2202」の音楽担当。2013年歌劇「あしたの瞳」、2015年歌劇「ブラックジャック」を発表。2016年NHK木曜時代劇「ちかえもん」、2017年NHK連続テレビ小説「ひよっこ」の音楽担当、「第68回紅白歌合戦」のオープニングテーマ作曲、2018年ミュージカル「ナイン・テイルズ」、2020年祝祭音楽劇「天保十二年のシェイクスピア」上演など、その活躍の場は多岐にわたる。

（宮川彬良公式ウェブサイト　https://akiramiyagawa-official.com/）

♪管弦楽 千葉県少年少女オーケストラ

1996年に佐治薫子氏を音楽監督に迎え、都道府県レベルでは全国初の少年少女によるオーケストラとして結成され、25年目を迎えた。団員は10歳から20歳までの160名で「よい音で、よい演奏を」をモットーに、土曜・日曜を利用して、県内各地から千葉県文化会館に集まり練習に励んでいる。

演奏活動は定期演奏会、地域演奏会や招待演奏など、県内外で数多く行っているほか、海外での公演も多く、これまでに米国、韓国、ドイツ、ブルガリアで演奏会を行い、好評を博した。また、「にんげんドキュメント」や「どれみふぁワンダーランド」、「題名のない音楽会」などテレビ番組にも多数出演。さらには2012年にはNHK総合、BSプレミアムで放送された山田洋次監督50周年記念番組のバックミュージックを担当するなど活動の幅を広げている。

2009年、これまでの活動が評価され、団体としては初めて「文化の日千葉県功労者表彰の文化功労」を受賞。

最近の活動としては、2016年、結成20周年記念の第20回定期演奏会にて、下野竜也氏の指揮、東京オペラシンガーズの合唱、ベテランのソリストを迎えて、ベートーベンの「交響曲第9番『合唱付き』」を演奏し、節目の年の最後を華やかに飾った。また、2017年の第21回定期演奏会では、井上道義氏の指揮でベートーベンの交響曲第４番を演奏、この4番をもってベートーベンの交響曲全9曲の演奏を果たした。2019年3月には１週間に3公演のスケジュールで、東京公演、題名のない音楽会の公開録画、第23回定期演奏会を、井上道義氏の指揮、小曽根真氏のピアノで行った。特に、東京公演では、サントリーホールにおいて初めての単独公演を行い、益々充実した活動を続けている。

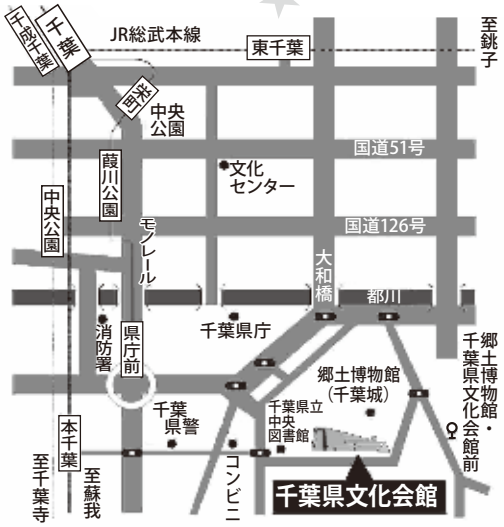
♪佐治（さじ） 薫子（しげこ） 千葉県少年少女オーケストラ音楽監督

1935年木更津市生まれ。1956年千葉大学教育学部音楽科卒業。同年君津市立松丘中学校勤務、リード合奏の指導に情熱を傾け、バッハの音楽を中心に演奏活動をし、「山の中のバッハ」のタイトルで全国放送される。

1966年に船橋市立前原小学校へ転任し、リード合奏からオーケストラ音楽への指導に専念した。1976年に習志野市立谷津小学校へ転任し、1984年に市川市立鬼高小学校へ転任した。最後の4年間は再び谷津小学校で過ごし、1996年退職。教職40年間をひたすら音楽教育に情熱を傾け、その間40数回も子ども達を全国優勝に導いている。在職中テレビ・ラジオ出演も多数。また、サントリーホールやNHKホール、東京文化会館大ホール、中新田バッハホール、カザルスホール等での招待演奏、さらにニュージーランドへの演奏旅行も行っている。

退職後1996年4月1日からは、千葉県少年少女オーケストラ音楽監督として活躍している。2006年4月放映のNHK「にんげんドキュメント～がんこ先生とぼくらのハーモニー～」では、音楽に情熱を傾ける姿が反響を呼び、2009年10月に再放送された。2007年2月には千葉テレビ「佐藤しのぶ出逢いのハーモニー」に単独出演（2010年3月1日再放送）、また、2009年9月には、NHK-BS2の「どれみふぁワンダーランド」の「匠の技」においてその指導法が紹介された。2017年2月17日にはNHK「ラジオ深夜便」に出演し、これまでの指導方針についての話しをするなど、テレビ・ラジオの出演も多数。

2016年12月2日にはこれまでの功績を称えられ、文部科学大臣より地域文化功労者表彰【全国表彰】を受賞した。公益財団法人千葉県文化振興財団特別参与

千葉県文化会館

千葉市中央区市場町11番2番
☎043（222）0201